

# — 結婚式の司会者 —

高3 保護者

「新郎・新婦のご入場です！」

厳粛な雰囲気の中、  
一筋のスポットライトが入口を照らします。  
扉が開いた向こうには、タキシード姿の新郎と  
純白のウエディングドレスに身を包んだ新婦が、  
少し緊張した面持ちで浮かび上がります…  
一斉に華やかなお祝いの楽曲が流れ、  
皆の拍手の中、  
新しい人生の第一歩を歩み始めます。

あなたは、どんな『結婚式』をしたいですか？

二人の人間もしくは二つの家族が  
婚姻(結婚)という形式を認証する儀式を  
『結婚式』と呼びますが、  
法律上の手続きで婚姻が成立します。  
ですから、『結婚式』を行う、行わないは  
二人の自由です。

『結婚式』は、二人が結婚したことの報告と  
「新しい道を歩み始めた二人をこれからも  
応援してください」  
という気持ちを込めて行われます。

私の仕事は、その結婚式の司会をすることです。  
結婚式の司会者は、二人(新郎・新婦)をはじめ、  
家族や親族、お友達など  
会場にいる全ての方々の笑顔があふれ、  
幸せな気持ちにする  
セレモニー演出の進行役です。



## たくさんのドラマ(物語)があります

司会をしているといろいろなことに会います。  
式寸前に結婚指輪を持ってくるのを忘れたことに気づ  
いた二人が喧嘩を始めました。スタッフから「代わりの  
指輪をお貸しするので式を進めましょう」の言葉も耳に  
入らないほどの言い争いです。結局、弟さんが自宅まで  
取りに帰り30分遅れになりましたが、無事式を行うこと  
ができました。

ある時は、再婚のカップルが「前妻の元にいる子供  
にも祝ってほしい」と招待状を送りました。2時間空席の  
まま、閉宴会際の誰もがあきらめたその時、制服姿の  
高校生の息子さんが「来るかどうか迷いましたが、僕は  
お祝いに来ました」と駆けつけた時は、拍手喝采となり  
映画のワンシーンのようでした。

このように、予測外のことも起こりますが、お祝いの  
席にふさわしいフォローで切り抜けていく臨機応変な  
対応が求められます。



## 仕事の厳しさと喜び

言葉は、一旦口から発するともとは戻せません。  
結婚式・披露宴のスピーチでは、縁起が悪いので使って  
はいけない「忌み言葉(いみことば)」というものがあ  
り、言葉を置き換えます。

「ケーキを切る」⇒「ケーキにナイフを入れる」  
「鏡割り」⇒「鏡開き」  
「披露宴を終わる」⇒「披露宴をお開き(お披露喜)にする」

最近ではこのような言葉を以前ほど気にする方が  
少なくなりましたが、出来る限り避けた方が良いでしょう。  
私は、打ち合わせの時に、新郎新婦の良いところを  
見つけて、まず二人を好きになります。大好きな友達の  
披露宴に参加する気持ちで心をこめてお祝いし、プロ  
として参列の皆さんが安心して楽しく過ごしてもらえ  
るよう些細なミスもないよう心がけています。司会者  
にとっては何百組中の一組ですが、本人やご家族にとっ  
ては、生涯で一度の大切な一日ですから。

お二人を始め参列のお客様に喜んでいただくことが  
一番の大きな喜びですが、ピアノ伴奏や音響さんと  
ピッタリと呼吸が合った時、1分のくらいもなく予定通りに

進行が進んだ時など、皆で作らあげた達成感で幸福な  
気持ちでいっぱいになります。例えて言うなら、体育祭や  
文化祭などクラス全員がまとまった時の達成感とでも  
いうのでしょうか。

人生で最高に輝くワンシーンの一つのお手伝い  
ができる仕事です。喜んでいただけて、なおかつ自分自身  
も幸せになれる魅力ある仕事だと思っています。



## どうすればなれるの？

特別な資格は必要ありません。司会者養成所・アナ  
ウンスクールの司会者のコース・司会者派遣事務所  
主催のスクールなど学ぶ方法はいろいろあります。ス  
クールで1年ほど発声練習(腹式呼吸)、発音、早口言葉、  
ナレーションを覚える勉強をしながら、先輩司会者の  
現場の隅で見学して覚えたり、アシスタントについて  
身をもって学んでいきます。ある意味、師弟制度的な  
ところも残っているといえます。

最後にオーディションがあり合格した人の多くは、タ  
レント事務所・イベント事務所・プロダクションやホ  
テル・結婚式場などに所属し、そこから仕事が割り振  
られる仕組みです。もちろん、フリーで活躍する司会  
者や昔テレビのアナウンサーだった、ラジオのDJだ  
ったという先輩も多くいらっしゃいます。



## どのような人が適している？

私は、今から考えると小学校の時から朗読は唯一  
先生に褒めていただける得意分野でした。また、学生  
時代にクラス代表や生徒会など人前で話す機会が多  
かったことも、この仕事を選んだ背景かもしれません。  
確かに、司会者の仲間には、恥ずかしがり屋さんはい  
ませんが、自己主張の強過ぎる人もおりません。なぜ  
なら、この仕事は華やかに見えますが、あくまで主  
役は結婚した二人(新郎新婦)であり、司会者はその  
主役の人生最高の一日を演出する黒子ですから。

また、コミュニケーション能力も必要です。『披露  
宴』を進めるためには、幾人もの重要なスタッフがい  
ます。会場責任者・コーディネーター・ピアノ演奏者  
・カメラマン・



## 美しい声より音の無い時間が大切？

あなたは、テレビなどで司会者を観る機会がある  
と思いますが、はたして司会者は一様に良い声でし  
ょうか？マイクに通じやすい声、聞き取りやすい声、  
心地よい声は有利ですが、これは発声練習やボイス  
トレーニングで訓練することができます。もちろん、  
声の高低、強弱も大切です。

その中でも、司会者には何も発しない時間『間(ま)』  
が一番のポイントとなります。司会に限らず漫才や俳  
優など名人と呼ばれる方は、会話の中に天性の素晴  
らしい『間』があります。たて板に水のような流暢な  
話し方より、『間』を取ることで、より聞き易く、  
説得力をもって相手の耳に届きます。わずか0.5秒  
にも満たない『間』を意識して話してみてください。  
あなたの言いたいことが、より相手に伝わることに  
気づくでしょう。



## より活躍の場を広げて

人生最大の晴れ舞台のお手伝いをする「結婚式の  
司会」は、皆さんに喜んでいただけるやりがいのある  
仕事だと思っています。若いあなた方は、外国のお客  
様がいらっしゃる結婚式やイベントの英語司会、企  
業の式典の司会、ファッションショー・映画発表会  
見の司会など、より活躍の場を広げて目指してみ  
てはいかがでしょうか。

